日本ホル協第74回総会

会員、血統、審査、軒並み減少

酪農家の離農、登録に大きく影響

一般社団法人日本ホルスタイン登録協会は6月21日、東京都内で第74回通常総会を開催し、令和5年度事業報告・収支決算、令和6年度会費徴収方法等について原案どおり可決承認された。任期満了に伴う役員改選では、新任7名を含む19名の役員選任が承認され、総会後の第324回理事会で前田勉会長、山口哲朗副会長、栗田純専務理事が再選、松島喜一理事が新たに副会長に選任された。

都府県血統登録申込24年ぶり4万頭切る

令和5年度事業報告では、昨年は6月に通常総会を開催したほか、理事会を4回開催し、第16回全共関係、インボイス導入、世界ホルスタインフリージアン会議、能登半島地震災害義援金、令和6年度事業計画・同収支予算等を協議決定した。5月には任期満了に伴う社員選挙を実施し、全国58区で社員各1名が当選した。また、本年2月には東西2地区で社員会議を開催し、ゲノミック情報利活用システム（GenIUS・ジーニアス）等の講演を行った。

5年度の会員申込数は全国で9004名になり、前年同期に比べて720名減少した。血統登録申込は20万2816頭で前年度より1万4100頭減少した。特に、都府県の血統登録申込頭数は平成11年以来実に24年ぶりに4万頭を切ったことが憂慮される。これは円安や流通コスト高騰による飼料価格の高止まり、牛乳消費停滞による生乳生産抑制等によって酪農経営がひっ迫し、さらには離農する農家が増えていることが影響している。

前田会長

体型審査頭数は全国で1万7899頭で前年度より約3000頭減少し、特に北海道では計画の72%に留まった。遺伝子型証明は血統登録頭数の減少に伴って親子判定やSNP検査件数も前年度より15%前後減少している。なお、本年1月からβカゼインA2型遺伝子型調査を開始した。

SNP実施農家に「GenIUS」提供

情報提供では、スマートフォンやパソコンで検索できる近交回避情報や検定成績証明の自動継続農家向けの登録情報活用システム（RIUS・ライアス）等の還元に努めた。また、昨年8月からSNP検査申込者に対して、飼養している雌牛の直近の遺伝評価成績と近交状況、未経産牛の牛群内順位をグラフ等によって見やすく表示した「GenIUS」をWeb上で提供開始した。調査研究では、JRA畜産振興事業において、疾病形質データの継続的な収集と遺伝分析、ハプロタイプによる遺伝性疾患等の保因状況の識別、さらに疾病形質を考慮したNTP等の見直しを行った。

そのほか、後代検定娘牛の体型調査、搾乳ロボット適合性指数開発のための体型データ収集、SNPデータによる血縁矛盾調査、遺伝能力評価用の体型及び泌乳記録の血縁構築作業を行った。

11月にはフランスで開催された世界ホルスタインフリージアン会議に前田会長ほか日本ホル協、北海道ホルスタイン農協、ジェネティクス北海道等から8名が出席し、併せてフランス国内最大のホルスタインショウや酪農家を視察した。

研修会関係では、都府県5地区で登録委員研修会と登録事務担当者会議を開催したほか、県単の共進会審査や登録・審査講習会に講師を派遣し、登録推進や牛の見方の実習を行った。

登録事業は赤字決算6年度さらに厳しく

左表の令和5年度正味財産増減計算書内訳では、登録事業からなる実施事業会計の経常収益合計は11億507万円で、経常費用合計を差し引いた当期経常増減額は8744万円の大きな赤字決算になったが、その他会計（ホルスタイン会館賃貸事業）と法人会計（管理部門）を合わせた当期一般正味財産増減額の総合計では何とか243万円の赤字決算に収めた。

また、令和6年度収支予算書内訳では、実施事業会計の当期一般正味財産増減額は1億349万円の赤字となり、これらの赤字をその他会計で補填しても、なお2600万円余の赤字が見込まれる等、引き続き厳しい財務状況が予想される。

第16回全共に向け万全の準備進める

令和6年度も引き続き、安価で申込書不要の「自動登録」の普及拡大と登録の精度向上に努めるほか、牛群審査や検定成績証明、SNP検査の普及拡大を図っていく。

6年度の血統登録計画頭数は全国で20万7015頭、移動証明3300件、審査成績証明1万8910頭、検定成績証明6万9010件で、それぞれ前年度計画頭数を下回る見込みだ。

調査研究では、前年度事業を継続して、疾病データの収集と遺伝分析、ハプロタイプ情報の公表に向けた研究を開始した。本年8月には、乳牛改良関係の5団体で構成する乳用牛改良推進協議会から、疾病繁殖性を考慮した新しい「NTP2024」を公表予定だ。

第16回全共については、令和7年10月に北海道安平町の北海道ホルスタイン共進会場での開催に向けて、既に都道府県別出品割当頭数を決定したほか、衛生対策ほか各種要領の施行、協賛・酪農資材器具展出展・広告掲載の協力依頼を開始する等、開催地北海道並びに各都府県関係機関の協力の下、万全の準備を進めていく。

日ホ協役員改選 前田会長を再選

今回の総会では任期満了に伴う役員改選が行われ、引き続き開催された第324回理事会で前田会長、山口副会長、栗田専務理事が再選、新たに松島理事が副会長に選ばれた。選任された役員は次のとおり（敬称略）。

◇会長
前田　勉（長野県・再）
◇副会長
山口哲朗（北海道・再）
松島喜一（熊本県・新）
◇専務理事
栗田　純（学識経験者・再）
◇理事
松原秀雄（北海道・再）
中六角保広（岩手県・再）
半澤善幸（宮城県・新）
臼井　勉（栃木県・再）
遠坂和仁（群馬県・再）
柴野立太（石川県・新）
神尾　至（静岡県・新）
堀部浩二（兵庫県・新）
徳丸洋一（鳥取県・新）
長恒泰治（岡山県・再）
三瀬寿登（愛媛県・再）
中島　清（福岡県・再）
◇監事
山口長一（山形県・新）
髙橋秀行（千葉県・再）
牧原浩一（鹿児島県・新）

神尾理事

柴野理事

半澤理事

松島副会長

牧原監事

山口監事

徳丸理事

堀部理事

令和5年度正味財産増減計算書内訳表（令5.4.1～令6.3.31）

（単位：円）

科　目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合　計
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益		114,053	1,303	115,356
② 受取会費			28,170,000	28,170,000
③ 事業収益	968,572,432	166,382,664		1,134,955,096
④ 受取補助金等	136,498,957	7,478,000		143,976,957
⑤ 雑収益		56,706	4,412,006	4,468,712
経常収益計	1,105,071,389	174,031,423	32,583,309	1,311,686,121
(2) 経常費用				
① 事業費	1,192,513,763	84,930,975		1,277,444,738
② 管理費			33,650,553	33,650,553
経常費用計	1,192,513,763	84,930,975	33,650,553	1,311,095,291
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 87,442,374	89,100,448	△ 1,067,244	590,830
特定資産評価損益等		130,000		130,000
当期経常増減額	△ 87,442,374	89,230,448	△ 1,067,244	720,830
2．経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 87,442,374	89,230,448	△ 1,067,244	720,830
法人税・住民税及び事業税		3,152,356		3,152,356
当期一般正味財産増減額	△ 87,442,374	86,078,092	△ 1,067,244	△ 2,431,526
一般正味財産期首残高				899,947,641
一般正味財産期末残高				897,516,115
Ⅱ 指定正味財産期末残高				0
Ⅲ 正味財産期末残高				897,516,115

令和6年度収支予算書内訳表（令6.4.1～令7.3.31）

科　目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合　計
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益		100,000	10,000	110,000
② 受取会費			28,917,000	28,917,000
③ 事業収益	963,075,000	166,673,000		1,129,748,000
④ 受取補助金等	144,668,000			144,668,000
⑤ 雑収益		50,000	4,506,000	4,556,000
経常収益計	1,107,743,000	166,823,000	33,433,000	1,307,999,000
(2) 経常費用				
① 事業費	1,211,239,570	93,035,770		1,304,275,340
② 管理費			30,200,660	30,200,660
経常費用計	1,211,239,570	93,035,770	30,200,660	1,334,476,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 103,496,570	73,787,230	3,232,340	△ 26,477,000
特定資産評価損益等				0
当期経常増減額	△ 103,496,570	73,787,230	3,232,340	△ 26,477,000
2．経常外増減の部				
(1) 経常外収益				0
(2) 経常外費用				0
当期経常外増減額	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 103,496,570	73,787,230	3,232,340	△ 26,477,000
法人税・住民税及び事業税		70,000		70,000
当期一般正味財産増減額	△ 103,496,570	73,717,230	3,232,340	△ 26,547,000
一般正味財産期首残高				897,516,115
一般正味財産期末残高				870,969,115
Ⅱ 指定正味財産期末残高				0
Ⅲ 正味財産期末残高				870,969,115

牛群改良情報「GenIUS」等活用して

長命連産で生涯生産能力向上を

（一社）日本ホルスタイン登録協会　会長　前田　勉

日本ホルスタイン登録協会会員の皆様には、日頃からホルスタイン登録事業の推進に対して多大のご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

当協会では、6月21日に全国から多くの社員並びに来賓を迎えて、第74回通常総会を開催しました。今期は役員改選があり、総会後の理事会で引き続き会長の職を務めさせていただくことになりました。新しい役員一同、乳牛登録事業を通じて会員酪農家皆様の経営向上のために一層努力していく所存ですので、今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

わが国の酪農は一昨年からの歴史的な円安等によって、配合飼料や燃油をはじめ酪農生産資材の価格高騰、さらには牛乳消費の停滞による生乳の減産や子牛価格の下落等によって、全国の酪農家はかつて経験したことのない厳しい状況が続いており、経営のひっ迫と、ついには離農する酪農家も増え続けている状況です。

この厳しい酪農環境の中で、私たち登録協会は乳牛改良を通じて、会員酪農家の経営の安定に必要な「健康で長命連産し、より高い生涯生産能力を発揮できるような優良な牛群づくり」を実践するため、血統登録や牛群審査、牛群検定の継続的な実施と、近年のゲノミック評価に必要なSNP検査の普及を図り、これらから得られる有益な改良情報を提供することが責務であると考えています。

本年度も昨年度に引き続き、安価で申込書不要の「自動登録」の普及定着と併せて、検定成績証明の自動継続農家向けに「登録情報活用システム（RIUS）」の提供、SNP検査農家に対する「ゲノミック情報利活用システム（GenIUS）」や雌牛ゲノミック評価速報値の提供等、情報還元の一層の充実に努めてまいります。また、昨年度からのJRA畜産振興事業では、農業共済組合からの疾病牛データの提供を受けて、疾病形質の遺伝分析と耐病性指数の開発、さらには遺伝性疾患等に関するハプロタイプ情報の公表に向けた研究を開始しています。加えて、乳牛改良関係5団体で構成する「乳用牛改良推進協議会」に参画して、本年8月には疾病繁殖性の改善等を盛り込んだ新たな総合指数（NTP2024）の公表を予定しています。

最後に、来年10月には10年ぶりとなる第16回全日本ホルスタイン共進会を北海道安平町で開催しますが、その成功に向けて万端の準備を進めていく所存ですので、皆様方からの一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

38年振りに会費を改定

日ジャ通常総会開く

高村会長

日本ジャージー登録協会（高村祝次会長）は5月16日、東京都内で第68回通常総会を開催し、令和5年度事業報告並びに同収支決算報告、令和6年度事業計画案並びに同収支予算案について協議し、原案のとおり可決承認された。

また、総会前に開催した第81回理事会では、第16回全日本ホルスタイン共進会の都道府県出品割当頭数の決定と、共進会規則並びに行事日程の一部変更について報告があった。

協議事項では、会費の改定が提案され、従来からの終身会員制を廃止するとともに、1年会員を正会員に改め、来年度から会費を1000円引き上げて年額2500円に改定することについて承認された。会費の改定は実に38年ぶりとなる。具体的には、令和7年度の通常総会で承認を得た後に、7年度会費を徴収することになる。

ジャージー視察交流会については、本年9月に開催される北海道ホルスタインナショナルショウの際に、北海道並びに都府県のジャージー乳製品の販売と登録普及推進を行う。このほか自動登録の実施取扱細則の一部改正についても原案どおりすべて承認された。

また、全国のジャージー酪農団体等で組織する全国ジャージー酪農振興協議会（長恒充委員長）も同日、第51回委員会と第47回総会を開催し、すべての議案について承認された。

日本ホル協特集

乳牛改良の専門農協
北海道ホルスタイン農協
HOKKAIDO

「２０２４北海道ホルスタインナショナルショウ」開催予定
【日　時】令和６年９月２８日（土）８：00～17：15　２９日（日）８：00～13：00
【会　場】北海道ホルスタイン共進会場（勇払郡安平町早来新栄）
【2024 ゴールデン ナショナル セール併催　９月２８日（土）（17：15～）】
詳しくは、当組合ホームページをご覧ください。

登録情報活用システム
RIUS（ライアス）
（一社）日本ホルスタイン登録協会が証明した検定・審査成績、共進会賞歴をパソコンやスマホで簡単検索！
在籍牛の血統登録状況も！
まずはアクセス！紹介動画も公開中！→

近交情報システムWeb

近交係数の上昇を抑制できる種雄牛をリストアップします！
雌牛ごと！
牛群一括で！
スマホでも！
リストアップ可能です！

北海道ホルスタイン農業協同組合
〒001-0015　札幌市北区北15条西5丁目1-5
【代　　表】TEL 011-726-3111　FAX 726-3135
【登録部証明課】TEL 011-726-3112　FAX 726-3124
【登録部電算課・改良課】TEL 011-700-2836　FAX 726-3124
【審 査 部】TEL 011-726-3114　FAX 700-2837
【経 済 部】TEL 011-726-3114　FAX 700-2837
ホームページアドレス：https://www.holstein.or.jp/
https://www.holstein.or.jp/hhac/

暑さに負けない。
暑熱耐性の高い種雄牛のご紹介

JP2H61023
マアラウ
GNTP +3,057（第34位※）
暑熱耐性 +1,56（第2位）
※ヤングサイアランキング

JP2H61278
ジョイアス
GNTP +3,117（第25位※）
暑熱耐性 +0,69（第6位）
※ヤングサイアランキング

JP5H59104
レーウイン
NTP +2,595（第6位）
暑熱耐性 +0,80（第10位）

暑熱耐性とは？
暑熱ストレスに対する耐性を表す指数で、評価値が高いほど暑熱環境における乳量の低下量が少なく、体細胞スコアや繁殖性などの影響を受けにくい傾向があります。

一般社団法人 家畜改良事業団
〒135-0041 東京都江東区冬木11-17 イシマビル　☎03-5621-8911
■十勝種雄牛センター　☎0155-54-2889
北海道事業所　☎011-242-9641
■盛岡種雄牛センター　☎019-683-2450
■前橋種雄牛センター　☎027-269-3311
東海近畿事業所　☎0564-57-2055
北関東駐在所　☎028-678-5424
■岡山種雄牛センター　☎0868-57-2475
■熊本種雄牛センター　☎096-279-2647
お問合せは、最寄りの種雄牛センターへ
※当団の性選別精液（Sort90）を用いた体外での胚生産等は許可していません。体内受精卵の生産は可能ですが、販売目的の場合は各種雄牛センターにご相談ください。